



■職業実習（インターンシップ）

3年次の夏に実施されるインターンシップ科目で、本学1期生が進級した平成9年度から開講しています。

実社会のものづくりの現場に触れ、大学で学ぶ工学知識との関連を知るとともに、今後の学習の方向性を認識することを目的としています。さらに、実社会において仕事をしていく上で、人間力（挑戦力・創造力・コミュニケーション力）も重要であることを学びます。

平成27年度3年生の実施スケジュールは、以下のとおりです。

平成26年度（2年次）		平成27年度（3年次）	
平成26年 10/22	「3年生の職業実習報告会」の聴講。 	4/22	全体ガイダンス（その3） ・全体スケジュールの確認。 ・企業マッチング結果の発表。
平成27年 1/14	全体ガイダンス（その1） ・企業の実習担当者からの講演（柿崎機械 西川 学 様）。 企業の方からの声を直接伺う説明会を実施しました。学生には、職業実習で得られることや、その後何が変わるかなどを聞くよい機会となりました。 ・職業実習（インターンシップ）とは（目的・心構え等） ・年間スケジュール。 ・「企業研究」に関する説明。 ・「対話型企業技術・要素会」の説明。 ・仮履修登録。 講演を聞いた上で、履修を希望する学生は仮履修登録を行いました。正式の登録は3年次の4月になります。	6/10	全体ガイダンス（その4） ・企業研究シート・予習シートの説明。
2/6	全体ガイダンス（その2） ・「対話型企業技術・要素会」参加。  	6月～7月	企業シート・予習シートの作成指導。
		7月中旬	学科ガイダンス。 ・職業実習報告書の説明。 ・訪問時の注意事項。 ・緊急事態の場合の連絡先等について。
		8/17～28	職業実習実施。 ※実施する企業によって実施期間が異なる場合あり。     (写真は過去のもので)
		10/7 (予定)	職業実習報告会。 →後輩に向けて。 職業実習の体験談、実習を受ける前と受けた後どのように意識が変わったか、履修する意義、実習先の選定アドバイスなどを、2年生に向けて伝えます。

●職業実習報告書

実習前に「実習企業の志望理由」, 「職業実習で学びたい内容」を記入し, 教員の面談と指導が行われます。実習時には, それらを企業に持参し, 実習内容について, 企業担当者と確認します。また, 日報を書き, 企業担当者に確認して頂きます。

実習後に, 「“学びたいこと”に対するふりかえり」, 「実習を通じて得られたこと」, 「今後の学生生活に向けて」をまとめることで, 職業実習報告書が完成します。

以下は, 昨年度の実習学生の内容(例)です。

実習前に記入	実習後に記入
【実習先企業の志望理由】 <ul style="list-style-type: none"> 〇〇メーカーで日本を代表する企業であるから。 〇〇製造業の生産工程や生産効率について知りたいから。 〇〇を製造する機械の仕組み（機構等）を知りたいから。 	【“学びたいこと”に対するふりかえり】 <ul style="list-style-type: none"> 職場の雰囲気（工場）は, 仕事と休憩での切り替えがはっきりしていた。 企画提案する上で, 理由と裏付けをしっかりと説得力を持たせることが大切だと分かった。 仕事をする上で, 自発的に意見を言う力が足りないことが分かった。
【実習を通して学びたいこと】 <ul style="list-style-type: none"> どのような雰囲気の中で働いているかを学びたい。 企画提案をする上で, 大切なことを学びたい。 仕事をする上で, 自分に足りないことを知りたい。 〇〇技術とはどういうものか知りたい。 	【実習を通じて得られたこと】 <ul style="list-style-type: none"> 1つの失敗が周囲の人に迷惑を掛けてしまうので, 責任感ある行動が重要である。 指示される前に行動することが大切である。
	【今後の学生生活に向けて】 <ul style="list-style-type: none"> 理由と裏付けを徹底的に調査することが, 卒業研究においても重要なので, 今後に活かしていきたい。 意見交換などで完璧な答えを考え込むだけでなく, 「自分はこうしたい」という気持ちをもって発言し, 自発性を向上したい。

●PBLインターンシップ

例年同様, 新潟市東区の「佐藤食品工業」で, PBL (Project Based Learning; 課題解決型) インターンシップを行います。

餅・米飯に関する講義や工場見学・工場実習の後に, 他大学のチームとともに, 企業から出されたビジネス課題に対する企画提案に取り組みます。最終日には, 役員の皆様や大学関係者の前で, プレゼンテーションを行います。

昨年度は, PBLインターンシップについて, 学生が新潟市中央区の「メディアシップ」で発表し, 新潟日報に取り上げられました(3/5掲載)。

(写真は過去のもので)



◆そして一言 (山崎泰広 教授/就業力育成事業部会員)



開学以来, 毎夏に実施している職業実習も今年で19年目になりました。職業実習は選択科目で, 夏休みに実施しているのですが, 毎年3年生の半数以上が受講しています。工学は, ただ学ぶだけでは意味が無く, それを実社会に役立てることに意味があるものです。職業実習は大学で学び得た知識を活用するための人間力を育む貴重な場となっています。職業実習を通じて, 工学を学ぶことに対するモチベーションを高めるとともに, 「ものづくり」の現場で大切なことや, 「働く」ということについて考える機会になることを願っています。

新潟工科大学 就業力育成事業部(事務局:キャリア・産学交流推進課)
〒945-1195 新潟県柏崎市藤橋1719 TEL:0257-22-8110 FAX:0257-22-8123
e-Mail:career-sangaku@adm.niit.ac.jp
職業人育成事業HP: http://www.niit.ac.jp/SHUGYO/
大学教育再生加速プログラムHP: http://www.niit.ac.jp/ap_business/